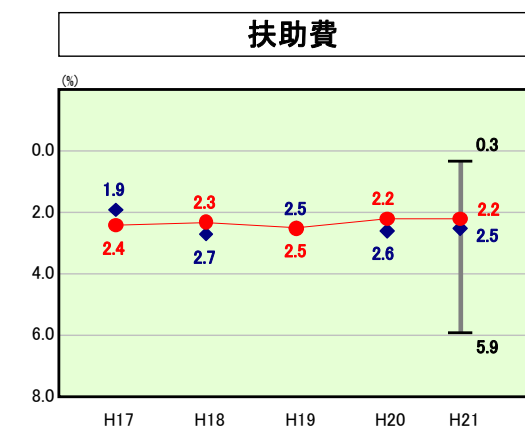
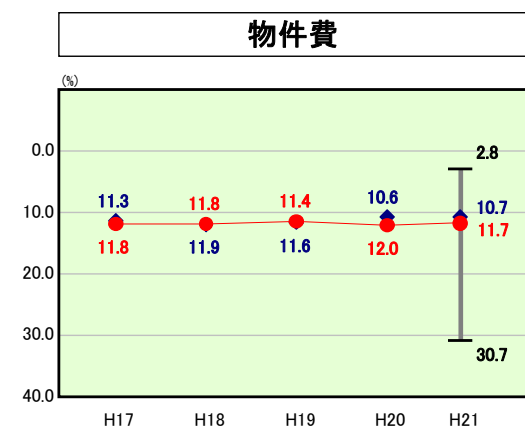
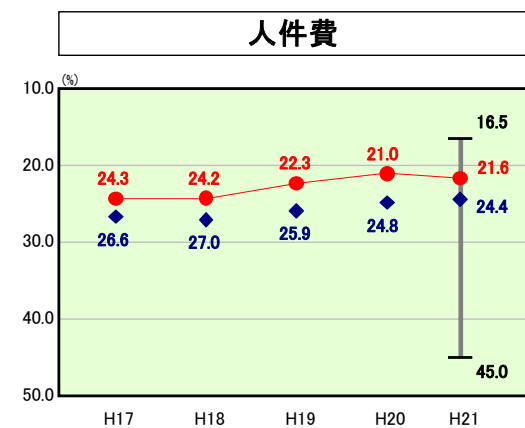
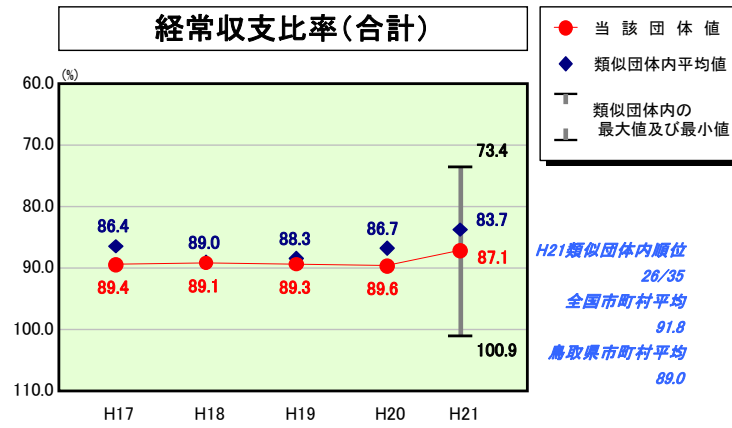
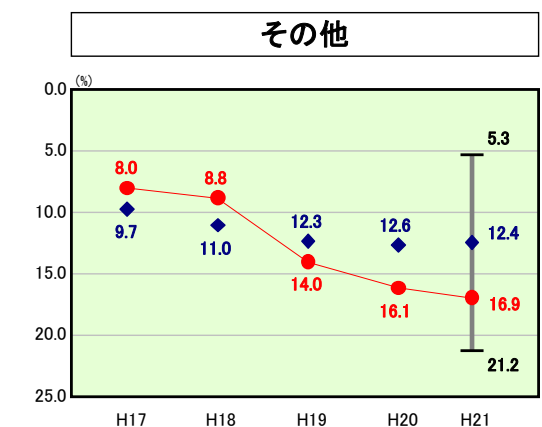
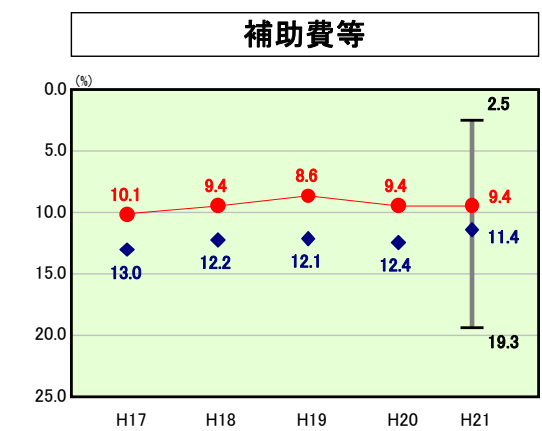
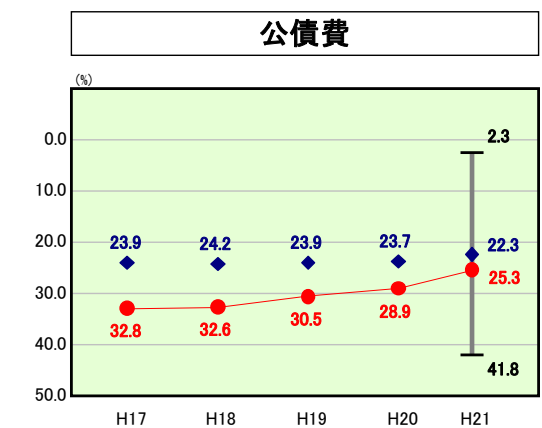
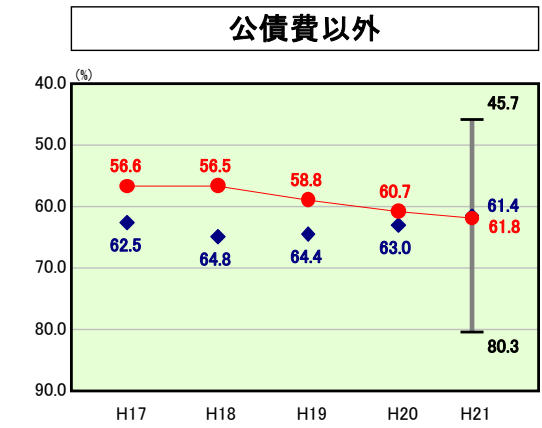
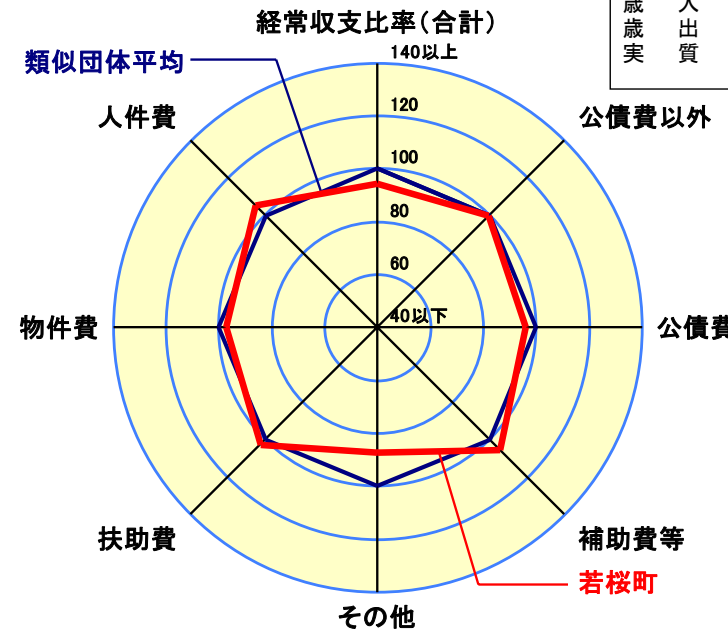


# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	4,072 人(H22.3.31現在)
面積	199.31 km <sup>2</sup>
標準財政規模	2,216,564 千円
歳入総額	3,525,134 千円
歳出総額	3,357,996 千円
実質収支	146,641 千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

- 人件費  
人件費は21.6%で、前年度より0.6%増加した。主な要因は、職員3名(新規採用2名、県より出向者1名)を増員したため。
- 物件費  
物件費は11.7%で、前年度より0.3%減少した。主な要因は、旅費などが減少したため。
- 扶助費  
扶助費は2.2%で、前年度と同数値であった。
- 公債費  
公債費は25.3%で、前年度より3.6%減少した。主な要因は、地方債残高が減少したため。
- 補助費等  
補助費等は9.4%で、前年度と同数値であった。
- その他  
維持補修費は1.1%で、前年度より0.9%増加した。主な要因は、若桜鉄道施設の維持補修費が皆増したため。  
繰出金は15.8%で、前年度より0.1%減少した。主な要因は、老人保健事業特別会計への繰出金が減少したため。